【作曲】さだまさし

悲しみの花の後からは喜びの実が実るようにしあわせになるために誰もが生まれてきたんだよ秋くれば葉は自ずから散るように審来れば花自ずから咲くように

何処かの誰かを救うため何処かの誰かを表れてきた訳は不知が生まれてきた訳はるが生まれてきた訳はていてもが生まれてきた訳はていている。

悲しみの海の向こうから喜びが満ちて来るようにしあわせになるために誰もが生きているんだよ朝が来て光自ずから照らすようをが来て闇自ずから染みるよう

愛しいあなたを護るため私が生まれてきた訳は愛しいあなたに出会うため私が生まれてきた訳は

作作曲詞 一さだまさし

が生ま れ てきた訳

が生まれ 母と 61 に れ 出会う てきた た 訳

き

たち

出会うた が生ま 8 な れ に出会う てきた 訳 は

達 生 3 ま h 1 てきた訳 た

出会うた あ な た

作作曲詞 さだまさし

来れば花 自ずから

くれば葉は自ずから ように (おの

誰もが生ま あわせにな れ るために

るように

1 た んだ よ

【作曲】さだまさし

が生ま 処 か 生 生 か か か か ま ま ま 0 0 誰 誰 誰 誰 れ れ れ かを傷 かを救うた か か てきた てき てきた訳 き に 傷 た だ 訳 訳 7 7

が来て闇 自ずから 作作曲詞 さだまさし

喜びが満ちて来るよう 朝が来て光自ずから 染みるよう 照らすよう あわせになるた が生き の海 句こう る だ か

5

が生まれ

出会う が生ま なたに

たたを